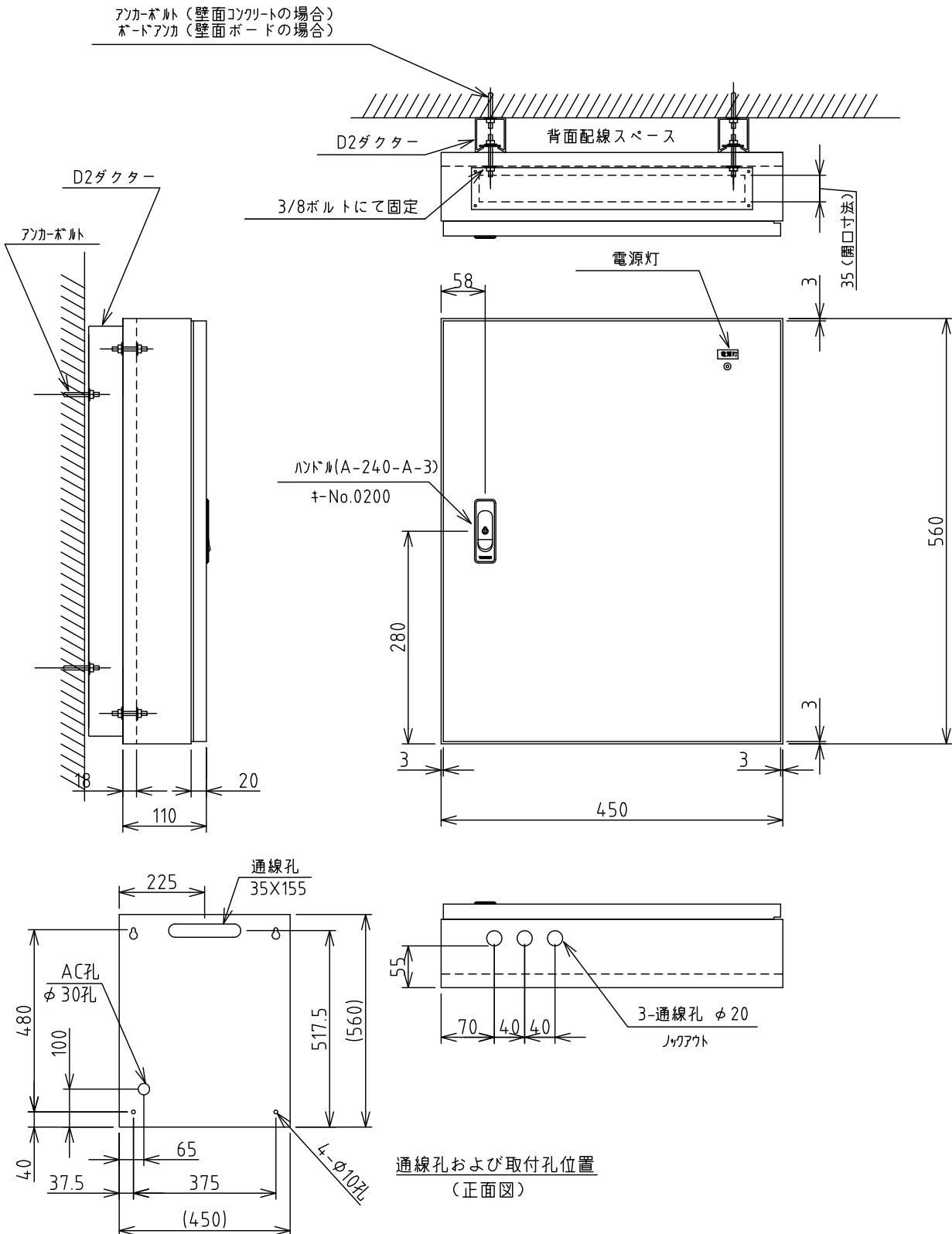


■要領図



■施工のポイント

1. 制御盤の周囲には、適切な空間を設ける。
2. 制御盤は、次のような場所への設置を極力避ける。
 - (1) 直接日光を正面に受ける場所。
 - (2) 温度または湿度の高くなる場所。
 - (3) 衝撃、振動などの影響を受ける場所。
 - (4) じんあい、ほこりなどの発生する場所。

【制御盤設置共通事項】

- 1.制御盤本体は水平かつ垂直に設置すること。
(水平器を利用し目視にて確認すること)
- 2.制御盤本体は壁面に対して適正な固定金具にて設置されていること。
 - 2-1 石膏ボード ⇒ ボードアンカー
 - 2-2 コンクリート躯体 コンクリートアンカー
 - 2-3 パーテーション 鉄板ビス
 - 2-4 ALC壁 ⇒ ALCアンカー
- 3.制御盤本体は曲がりや歪がないように設置すること。
(扉の開閉がスムーズに行えること)
- 4.制御盤設置は本体扉が90度以上開く位置に設置されていること。
(メンテナンススペースを確保すること)
- 5.金属クワを利用して設置する場合はD2もしくはD1を使用すること。
- 6.制御盤内の基板に切粉やボード屑、ケーブル切断材等が混入しないように適正な養生措置を施してから工事すること。

【ケーブル配線共通事項】

- 1.通線孔には外部からゴミが入らないように養生をすること。
(耐火パテ、ブッシングなどを使用する)
- 2.通線孔にはケーブルに傷がつかないように端部養生材を設置すること。
(自在ブッシングなどを使用する)
- 3.電源ケーブルと弱電ケーブルは適切な距離を設けて入線すること。

【盤内配線共通事項】

- 1.ケーブルが基板上を通過しないようにすること。
- 2.すべてのケーブルに適正な行き先表示を取り付けること。(設置例は注1)
- 3.ケーブルはインシュロックやマウントベースを利用してを捕縛を行うこと。
- 4.ケーブルの被覆端部は絶縁テープにて処理すること。
- 5.ケーブルの未使用線は適度な長さに切りそろえ絶縁処理をすること。
- 6.ケーブルの端子接続部はストリッパーを利用すること。(適正工具の利用)
また、必要に応じてY端子や丸端子を使用すること。

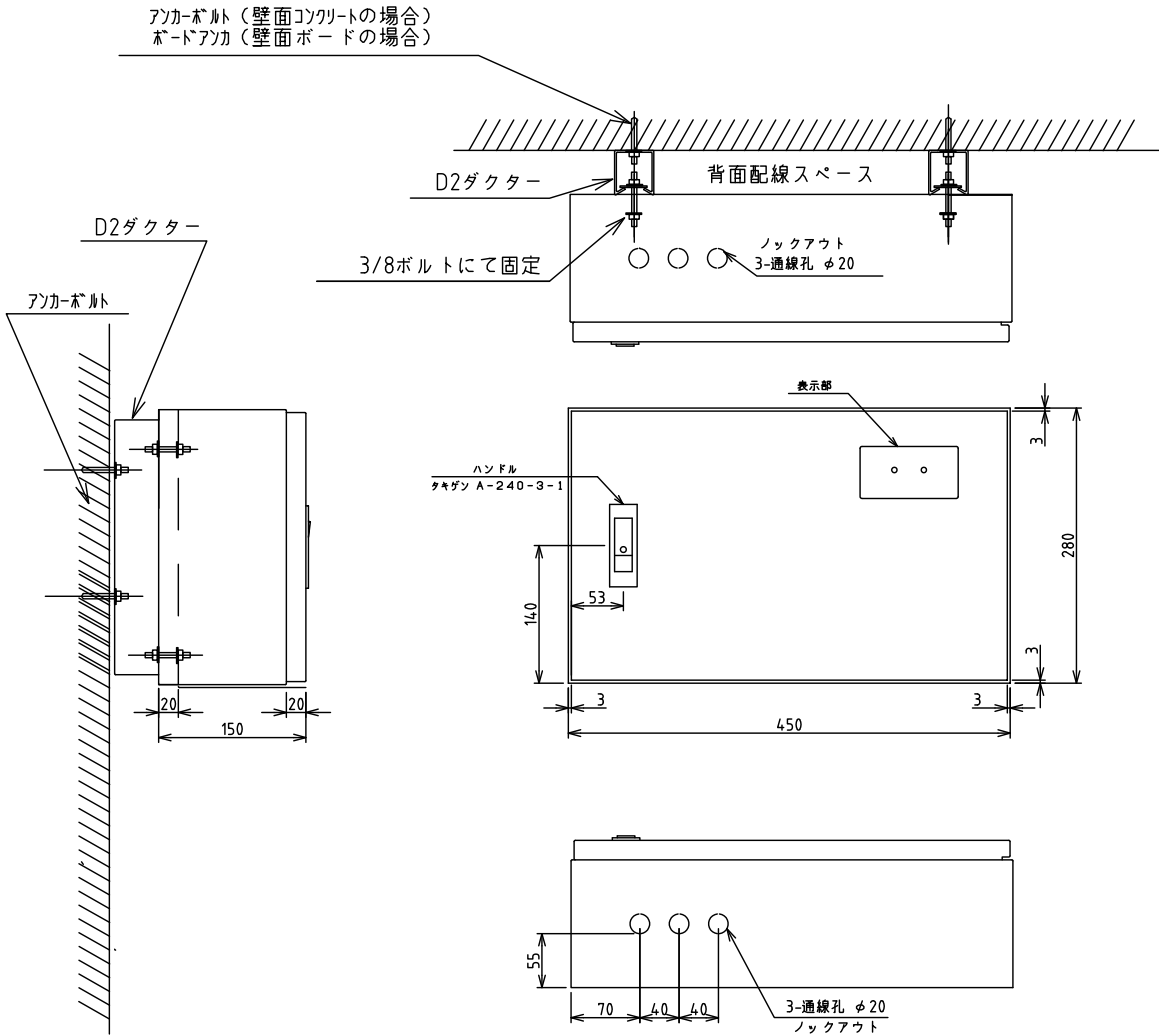
【弱電接続について】

- 1.通信幹線及びカードリーダーのケーブルには適正なノイズ対策
(シールドアース処理)を実施すること。
- 2.端子接続は1端子4つ以内としそれ以上接続しないこと。
- 3.LAN(UTP)ケーブルの端子取付後は、適正な試験を行うこと。
- 4.接続は締めすぎることのないようすること。(電動工具は使用しないこと)

【100V電源接続について】

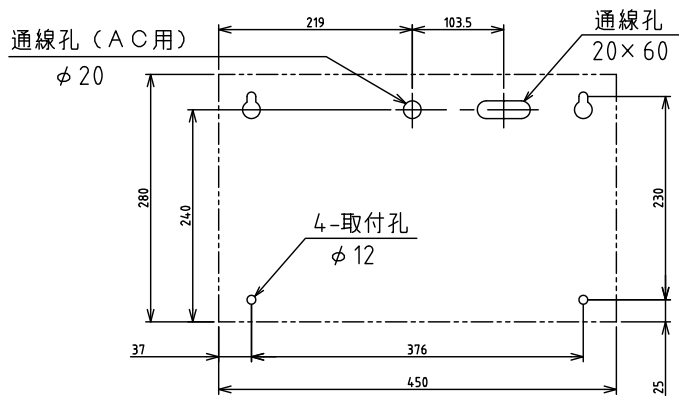
- 1.電源ケーブル接続は有資格者(2種電気工事士)が行うこと。
- 2.電源端子接続は丸端子を利用し接続すること。
- 3.接続は緩みのないようすること。(増し締めの実施)
- 4.接続は締めすぎることのないようすること。(電動工具は使用しないこと)

■要領図

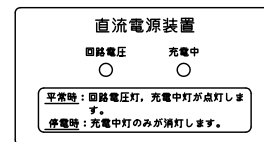


通線孔および取付位置

（正面図）



表示部詳細

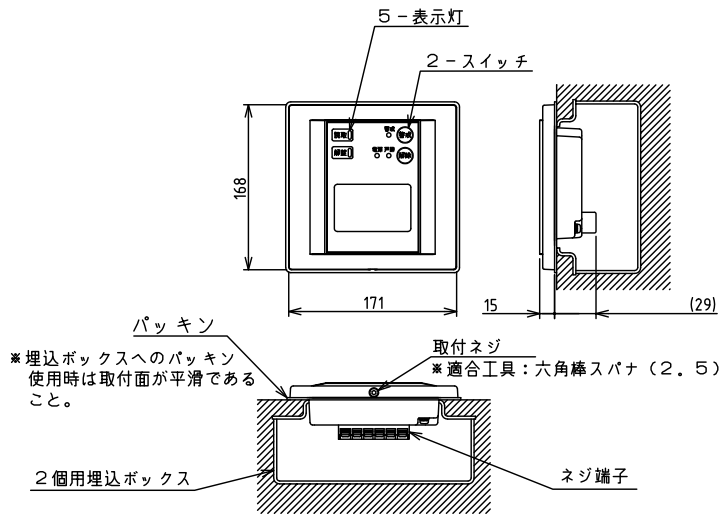


■施工のポイント

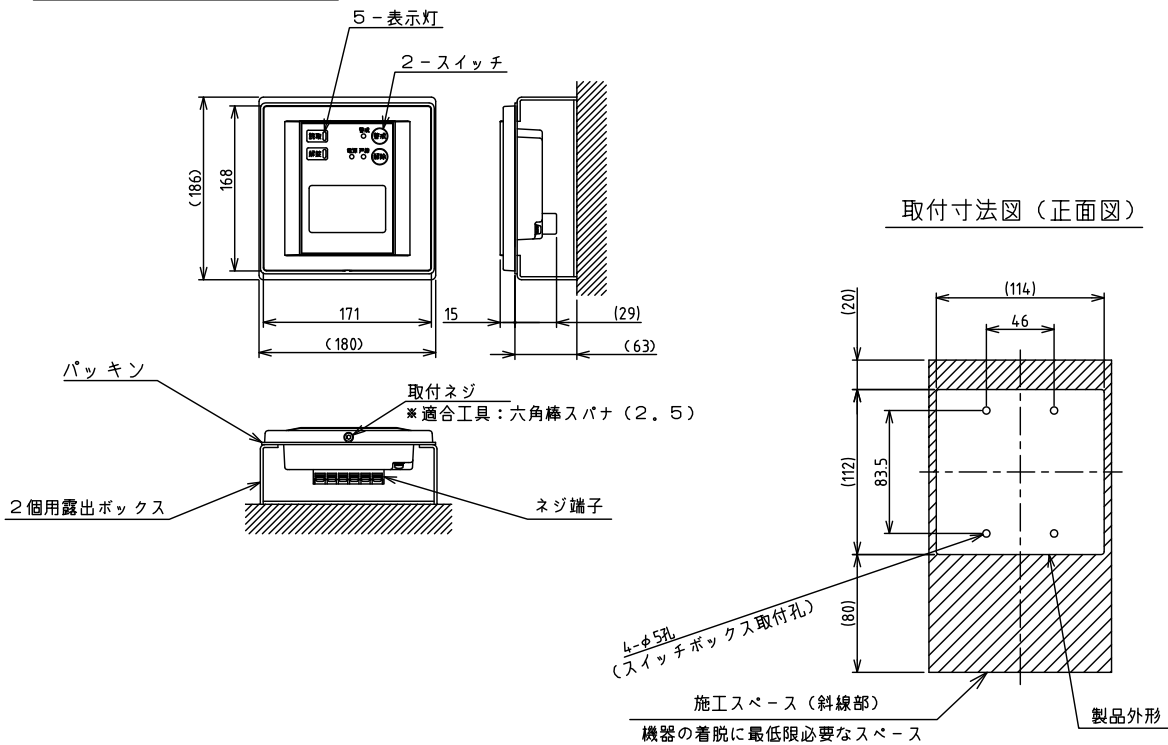
1. 直流電源装置の周囲には、適切な空間を設ける。
2. 直流電源装置は、次のような場所への設置を極力避ける。
 - (1) 直接日光を正面に受ける場所。
 - (2) 温度または湿度の高くなる場所。
 - (3) 衝撃、振動などの影響を受ける場所。
 - (4) じんあい、ほこりなどの発生する場所。

■ 設置要領

2 個用埋込ボックス取付例



2 個用露出ボックス取付例



■ 施工のポイント

1. カードリーダーの周囲には、適切な空間を設ける。
2. 次のような場所への設置をしない。
 - (1) 直接日光を受ける場所。
 - (2) 温度または湿度の高くなる場所。-10℃～50℃ (結露なきこと)
 - (3) 衝撃、振動などの影響を受ける場所。
 - (4) じんあい、ほこりなどの発生する場所。
 - (5) 電磁波の影響を受ける場所。